

# 平成22年度 会社業績の概要

平成23年4月

四国電力株式会社

# はじめに

本資料は、お客さまや株主をはじめとする皆さま方に、経営効率化の状況や収支実績等をご紹介することを目的に取りまとめたものです。

ご高覧いただき、当社事業についてご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年4月  
四国電力株式会社

## 【目次】

1. 中期経営構想（H18～22年度）数値目標の達成状況	1
2. 効率化に向けた取り組み	2
3. 環境特性に優れたLNGの導入	4
4. 電力販売面での取り組み	5
5. 新たな事業領域への挑戦	7
6. グループブランドの維持・高揚に向けた取り組み	9
7. 収支状況	10

# 1. 中期経営構想 数値目標の達成状況

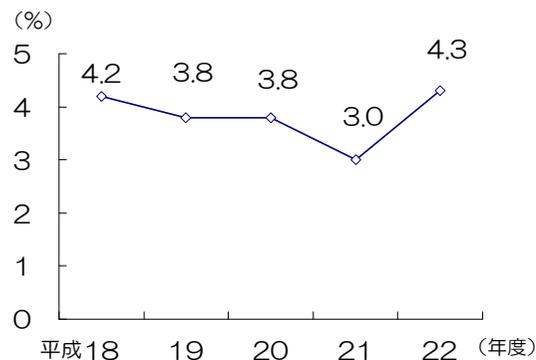
◇ 中期経営構想（平成18～22年度）におけるROA、自己資本比率、電力販売拡大、キャッシュフローの数値目標については、概ね達成することができました。

	数値目標（連結） [平成18～22年度]	平成22年度 実績 〈 〉内は5年間平均または累計
ROA [総資産営業利益率]	平均 4.0%以上	4.3% 〈 平均 3.8% (4.0%※1) 〉
自己資本比率	25～30%	平成22年度末 25.4%
電力販売拡大	5年間で10億kWh	1.9億kWh 〈 累計 10.1億kWh 〉
キャッシュフロー	7,300億円以上	7,413億円
戦略配分キャッシュフロー※2	3,000億円以上	3,471億円

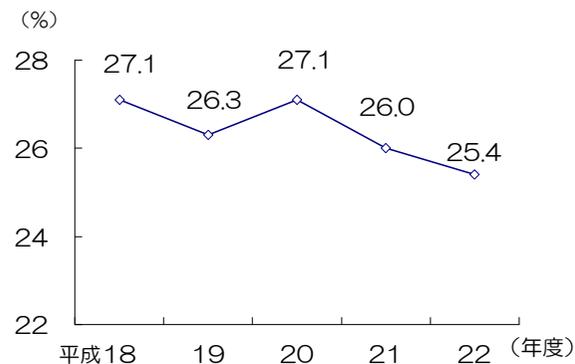
※1. ( ) は、19年度の減価償却制度の変更影響を除く場合のROA

※2. 「戦略配分キャッシュフロー」 = 「キャッシュフロー」 - 「維持更新投資」 - 「有利子負債削減」

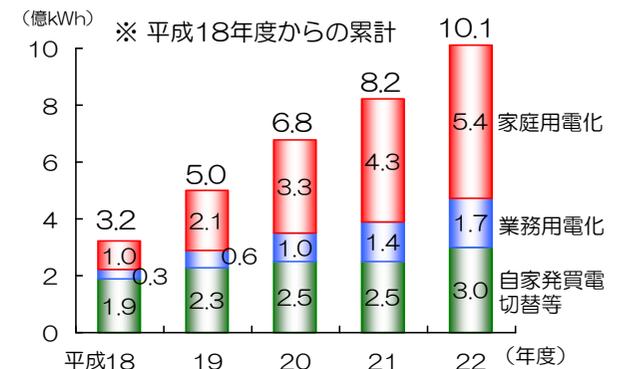
ROAの推移



自己資本比率の推移



電力販売拡大の推移



## 2. 効率化に向けた取り組み

◇ 当社は、安全・安定的かつ低廉、環境への負荷の少ない電気をお届けできるよう、中長期を見据えた効率的な設備形成とその安全・安定運用に努めております。

### ▶ 設備投資

平成22年度は、伊方発電所の中央制御盤取替工事の反動減や坂出發電所のLNG導入工事の終了などで低水準にとどまり、600億円となりました。ピーク時の平成4年度に比べると、4割弱の水準になっております。

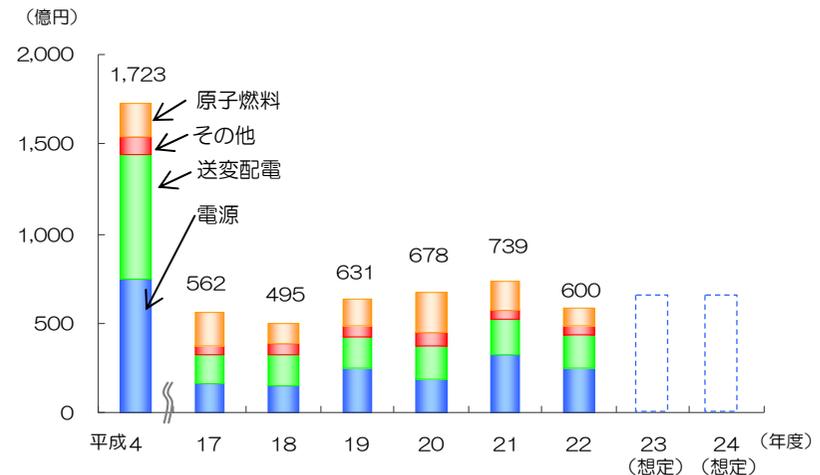
今後は、設備の高経年化対策などに対処していく必要がありますが、計画的で効率的な設備形成に努めることで、700億円程度の投資水準を維持してまいります。

### ▶ 修繕費

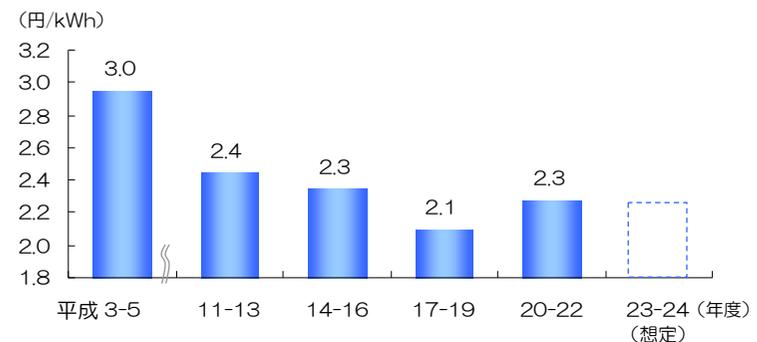
平成20～22年度平均の販売電力量あたりの修繕費は、2.3円となりました。ピーク時の平成3～5年度平均と比べると、8割弱の水準になっております。

今後とも、高い供給信頼度を維持しながら、効率化に弛みなく取り組むことで、引き続き、現状水準の維持に努めてまいります。

### ◇ 設備投資額の推移（附帯事業を含む）



### ◇ 修繕費（販売電力量あたり）の推移



## 2. 効率化に向けた取り組み

### ▶ 原子力発電所の安全・安定運用

伊方発電所の設備利用率は、定期検査の実施等による変動はあるものの、概ね80%を超える水準を安定的に維持しており、今後とも、安全・安定運転の継続に努めてまいります。

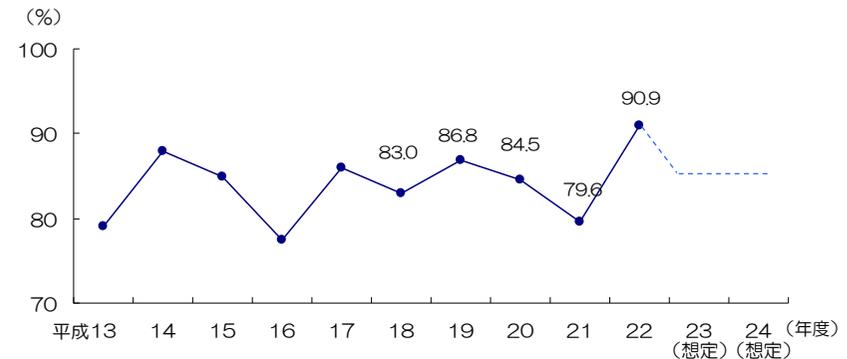
特に今回の東日本大震災を踏まえ、新しく得られた知見については、安全対策にしっかりと反映させてまいります。

### ▶ 電気料金への反映

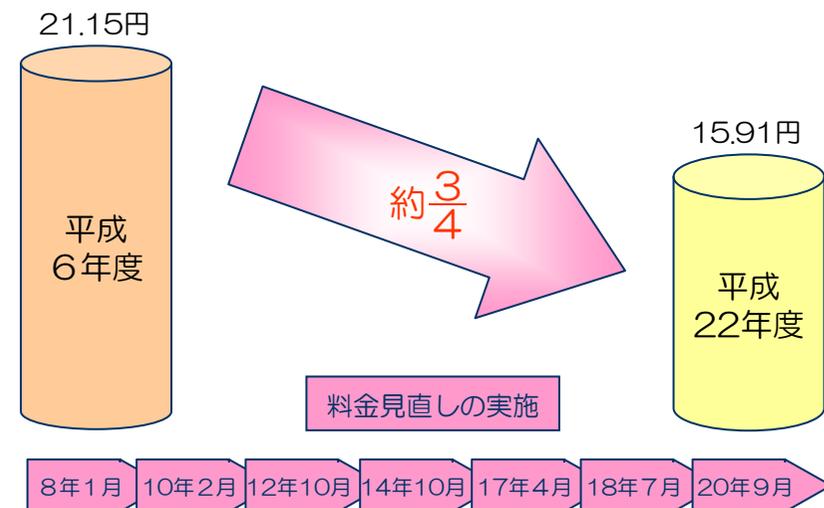
当社は、経営全般にわたる効率化の成果を平成8年以降、通算7回にわたって電気料金に反映し、低廉な価格の実現に努めてまいりました。

平成23年度については、経営環境が不透明ではありますが、経営全般にわたる効率化を進めていくことで、当面は現行の電気料金水準を維持していきたいと考えております。

### ◇ 伊方発電所の設備利用率の推移



### ◇ 平均電気料金（1kWhあたり）の推移



注.上記は、各年度の電気料金収入（電灯料・電力料）を販売電力量で除した値をグラフ化したもの

### 3. 環境特性に優れたLNGの導入

◇ 当社は、CO2排出量の削減や既設火力発電所の経年化対策を進める観点から、坂出發電所に、石油・石炭に比べてCO2排出量が少ないLNG（液化天然ガス）の導入を計画的に進めております。

#### ▶ 導入実績

これまでに、4号機（35万kW）のLNGへの燃料転換と1号機（29.6万kW）のLNGコンバインドサイクル発電へのリプレースが完了し、ともに、平成22年度から、営業運転を開始いたしました。

#### ▶ 今後の計画

2号機について、現行の石油・コークス炉ガスを燃料とする汽力発電から、LNGを燃料とする高効率コンバインドサイクル発電（28万kW級）へのリプレースを予定しております。

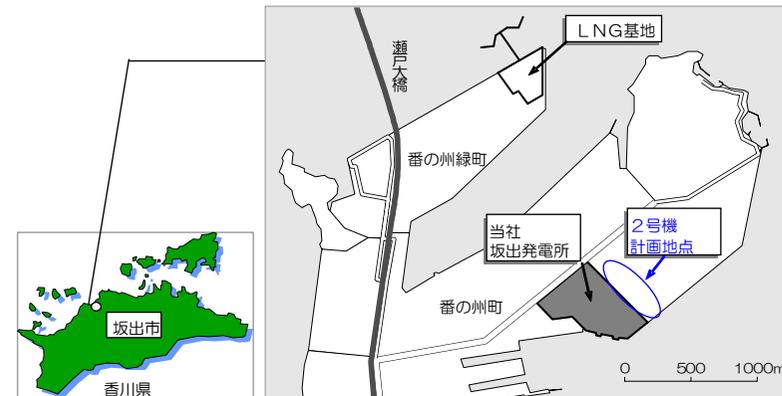
昨年4月から環境アセスメント手続きを進めており、平成26年3月の工事着工、平成28年11月の営業運転開始を目指しております。

#### ◇ 坂出發電所新2号機の概要

	新2号機	<参考> 既設2号機
定格出力	28万kW級	35万kW
使用燃料	LNG	石油, コークス炉ガス
発電方式	コンバインドサイクル発電	汽力発電
熱効率※	約57%	約43%

※低位発熱量基準：燃料の発熱量から水分の蒸発量を予め差し引いた発熱量（低位発熱量）を基準に算定した発熱量

#### ◇ 坂出發電所新2号機計画地点

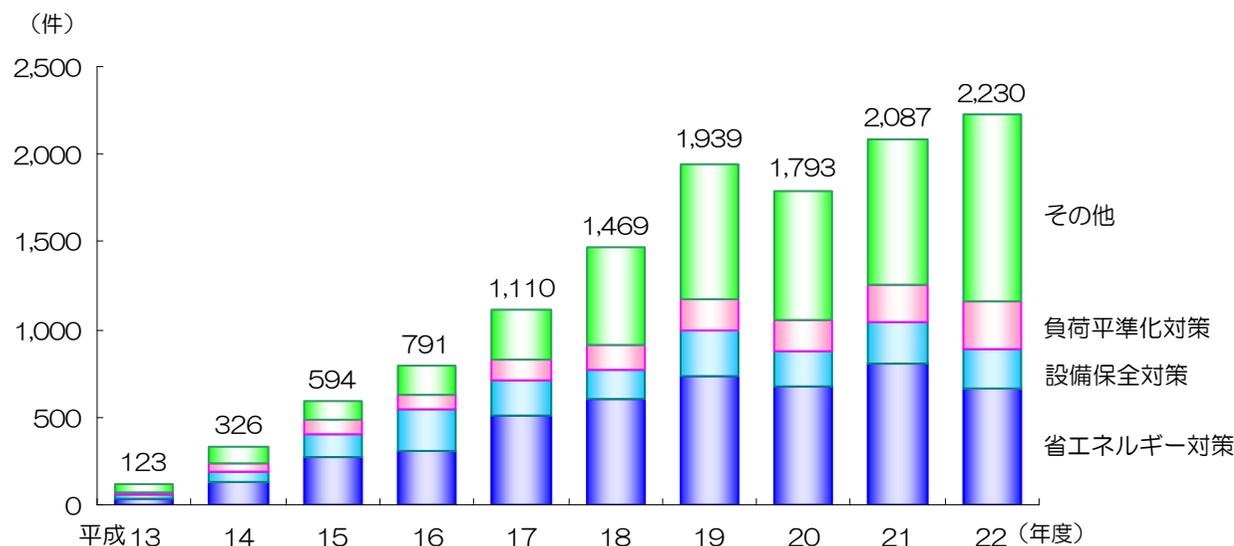


### ▶ ソリューションサービスの展開

当社グループが保有する技術力・ノウハウを活用し、生産設備・照明設備の省エネ提案や劣化機器取替による設備効率の改善など、お客さまが直面する様々な技術的課題に対してより良い解決策を提案する「技術サポート活動」に積極的に取り組んでおります。

こうしたソリューションサービスは、お客さまからも高評価をいただいております。着実に成果を上げています。平成22年度の提案件数は2,230件ののぼり、うち、約900件の提案が採用されました。

◇ 技術サポート活動の実施状況



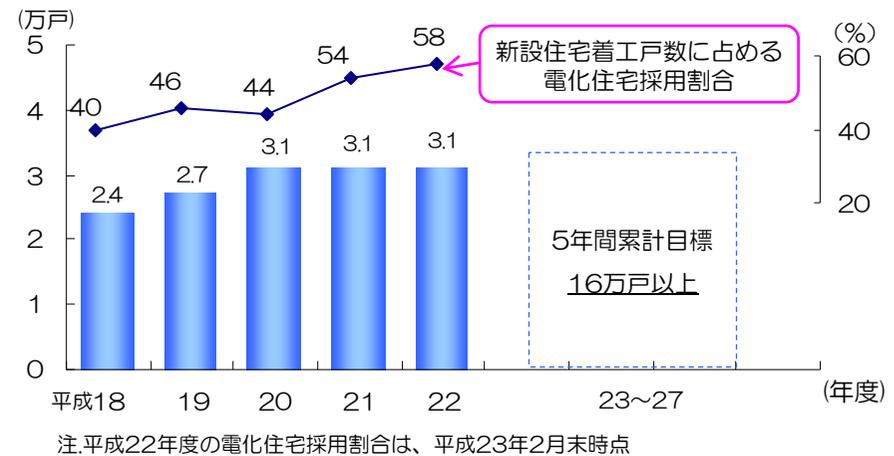
## 4. 電力販売面での取り組み

### ▶ 家庭分野での電化

調理、給湯、冷暖房など、ご家庭での全ての熱源を電気でまかなう電化住宅は、幅広い層のお客さまからご支持を頂いており、四国地域において、新設住宅着工戸数に占める電化住宅の採用割合は、5割を超えています。

平成22年度の採用戶数は、3.1万件となり、平成18年度からの累計で約14万戸の増加となりました。

### ◇ 電化住宅採用戶数 ※新築のほかリフォーム等も含む

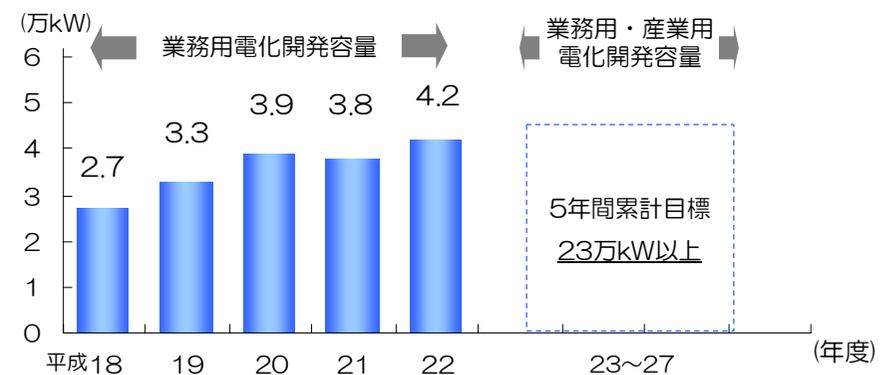


### ▶ 業務用分野での電化

ヒートポンプ技術を活用した空調・給湯や電化厨房などの電気式システムの優位性をオフィスビルや商業施設、学校、病院などに訴求し、導入拡大に努めております。

平成22年度の業務用電化開発容量は、4.2万kW増加し、平成18年度からの累計で約18万kWの増加となりました。

### ◇ 業務用・産業用電化開発容量



## 5. 新たな事業領域への挑戦

◇ 『暮らしを支えるマルチユーティリティ企業グループ』の実現に向けて、四国地域を基盤にエネルギー、情報通信、ビジネス・生活サポートの3分野において、よんでんグループの総合力を最大限に発揮し、新たな付加価値の創出に取り組んでおります。

### ▶ LNG販売事業

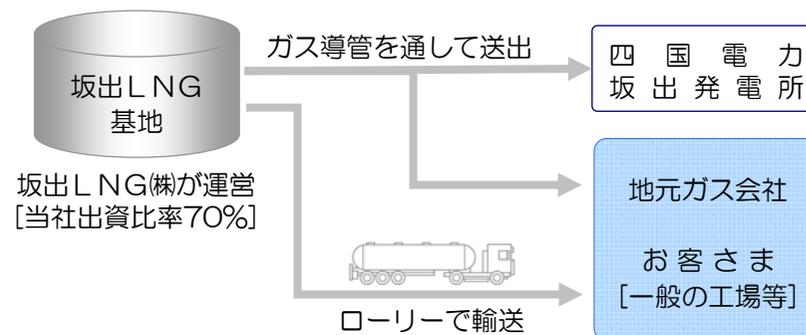
昨年3月の坂出LNG基地の運転開始に伴い、地元ガス会社への卸供給や大口のお客さまへのLNG販売を本格的に開始しました。平成22年度は約7万トン販売しており、今後1～2年のうちに、10万トン/年の販売量を達成したいと考えております。

### ▶ 海外事業

電力に関する技術コンサルティング事業や発電（IPP）事業は、グループが保有するノウハウや人財などの経営資源を有効活用できるとともに、収益基盤の拡大に繋がる有望分野として、取り組んでおります。

このうち、海外IPP事業では、カタール、オマーンで計3プロジェクト（当社持分30万kW）に参画しており、平成23年3月からは、カタールの「ラスラファンC発電・造水プロジェクト」が操業を開始しております。

### ◇ LNG販売の概要



### ◇ 海外IPPプロジェクトの概要

	カタール国 ラスラファンC	オマーン国	
		バルカ3	ソハール2
事業内容	・発電・造水プラントの新設、運営 ・電力、水の販売	・発電プラントの新設、運営 ・電力の販売	
発電設備	273万kW	各 74.4万kW	
操業期間	平成23年3月から25年間	平成25年4月から15年間	
総事業費	約39億米ドル	合計 約17億米ドル	
出資比率	5%（持分13.7万kW）	11%（持分 各8.2万kW）	

## ▶ 情報通信事業

大容量・高速の光通信サービスを提供するFTTH事業については、情報と通信を一体的に提供できる(株)STNetが中心となり、個人向けの「ピカラ光サービス」を四国の4県都を中心に展開しております。

契約数は、順調に拡大しており、平成22年度末には11万件に達しました。平成23年度は、さらに約2万件の増加をはかり、単年度の黒字化を目指しております。

## ▶ ビジネス・生活サポート事業

グループで培った技術力や信用力を活かし、PFI事業\*1や指定管理者制度\*2の受託などの自治体関連事業および介護事業など、地域のビジネスやお客さまの暮らしに密着した多様なサービスを展開しております。

介護事業では、現在2カ所で介護付有料老人ホームを運営しており、新たに高知市でも平成24年3月を目途に開設する計画としております。

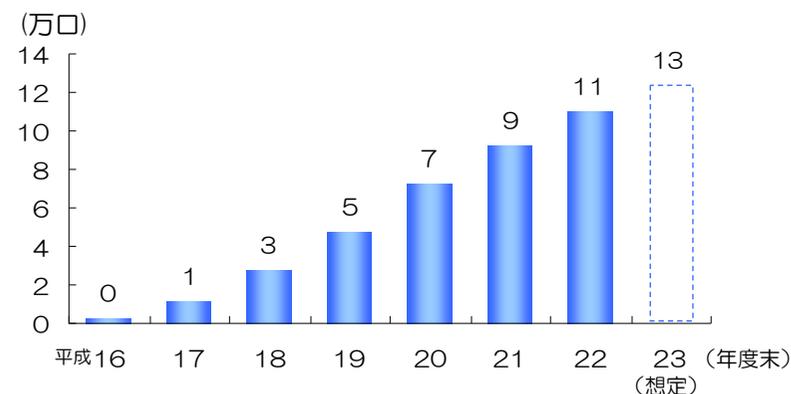
### ピカラ光サービス

ピカラ光ねっと  
インターネットサービス

ピカラ光でんわ  
IP電話

ピカラ光てれび  
多チャンネル放送

### ◇ ピカラ光サービス 累計契約口数の推移



### ◇ 介護付有料老人ホームの運営状況

既設	アミーユよんでん道後(松山市)	(株)よんでん ライフケア が運営
	アミーユよんでん栗林(高松市)	
新規	アミーユよんでん高知(高知市)	

※1. PFI事業

公共施設の整備事業において、民間が資金を調達し、設計・建設を行うとともに、施設の維持管理・運営等も一括して行う事業手法

※2. 指定管理者制度

自治体が所有する公共施設の管理・運営について、外郭団体や民間企業等に包括的に代行させる制度

## 6. グループブランドの維持・高揚に向けた取り組み

◇ さまざまな事業活動を通じて、これまで築き上げてきた地域社会、お客さま、株主の皆さまとの信頼関係をより強固なものとし、「安心と信頼のよんでんグループブランド」の維持・高揚に努めております。

### ▶ 法令遵守・企業倫理の徹底

皆さまから一層信頼される企業づくりに向けて、グループ社員一人ひとりが法令を遵守し、企業倫理を徹底するとともに、透明性が高く、開かれた事業活動を遂行することを基本方針とする「よんでんグループ行動憲章」を定め、7つの柱からなるCSR活動に取り組んでおります。

### ▶ 情報開示の徹底と対話活動の充実

地域の皆さまと信頼関係を構築するには、タイムリーで適切な情報開示が不可欠です。当社では、全国に先駆けて、伊方発電所で透明性の高い情報公開制度「伊方方式」を導入し、情報開示の徹底に努めております。

また、対話活動にも力を入れており、定期的にお客さま懇談会や電力アドバイザー会議を開催しているほか、施設見学会や学校での出前エネルギー授業なども実施しております。

### ◇ CSR活動の7つの柱

I 電力の安定供給の遂行

II コンプライアンスの推進

III 環境保全活動の推進

IV 開かれた経営の実践

V お客さま志向の徹底

VI 従業員活力の維持・向上

VII 地域共生活動の推進

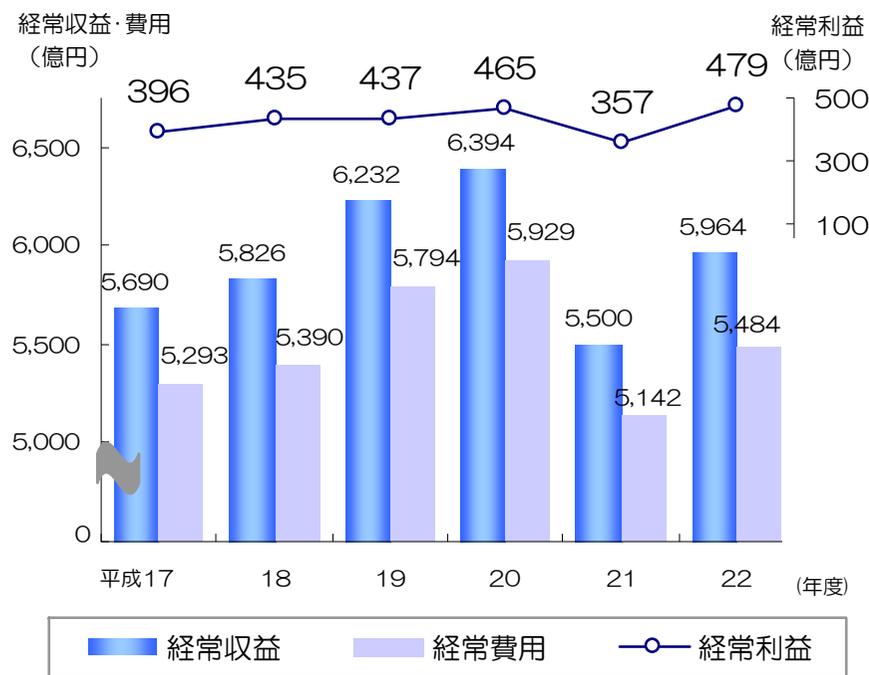


電力アドバイザー ※を対象とした施設見学  
 ※電力アドバイザー …お客さまに当社のアドバイザーになっていただき、会議や施設見学会等を通じてご意見やご要望をいただく取り組み

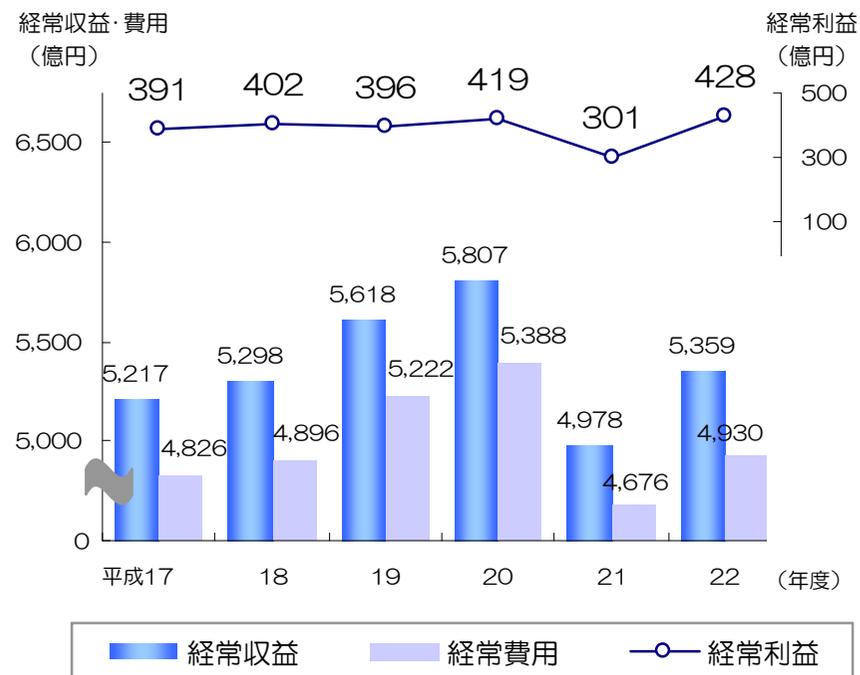
# 7. 収支の状況

◇ 収支の状況については、電力販売面での取り組みや経営全般にわたる効率化を継続的に推進することなどにより、安定した利益水準を確保しています。

## 連結収支



## 単独収支



# <参考>過去5年間の収支実績

## ◇ 収支実績 [単独]

(億円)

		平成18年度	19	20	21	22
経常収益	電 灯 電 力 料	4,536	4,667	4,831	4,444	4,629
	地帯間・他社販売電力料	552	721	763	331	474
	そ の 他 収 益	209	230	212	202	255
	計	5,298	5,618	5,807	4,978	5,359
経常費用	人 件 費	477	597	659	659	574
	燃 料 費	803	1,082	1,117	650	754
	購 入 電 力 料	595	618	769	619	654
	減 価 償 却 費	763	711	677	674	755
	修 繕 費	628	607	645	644	662
	支 払 利 息	192	145	113	101	98
	そ の 他 費 用	1,435	1,459	1,404	1,327	1,430
計	4,896	5,222	5,388	4,676	4,930	
経 常 利 益		402	396	419	301	428
当 期 純 利 益		258	242	268	192	208

(注) 億円未満は切り捨て表示。

## ◇ 主要諸元

		平成18年度	19	20	21	22
(対前年度伸び率)		(0.7%)	(3.9%)	(▲1.9%)	(▲4.2%)	(5.8%)
電 灯 電 力 量	(百万kWh)	28,161	29,269	28,701	27,496	29,100
出 水 率	(%)	97.1	75.2	98.0	79.2	92.8
原 子 力 利 用 率	(%)	83.0	86.8	84.5	79.6	90.9
為 替 レ ー ト	(円/\$)	117	114	101	93	86
原 油 C I F	(\$/b)	64	79	91	69	84

しあわせのチカラになりたい。

---

